

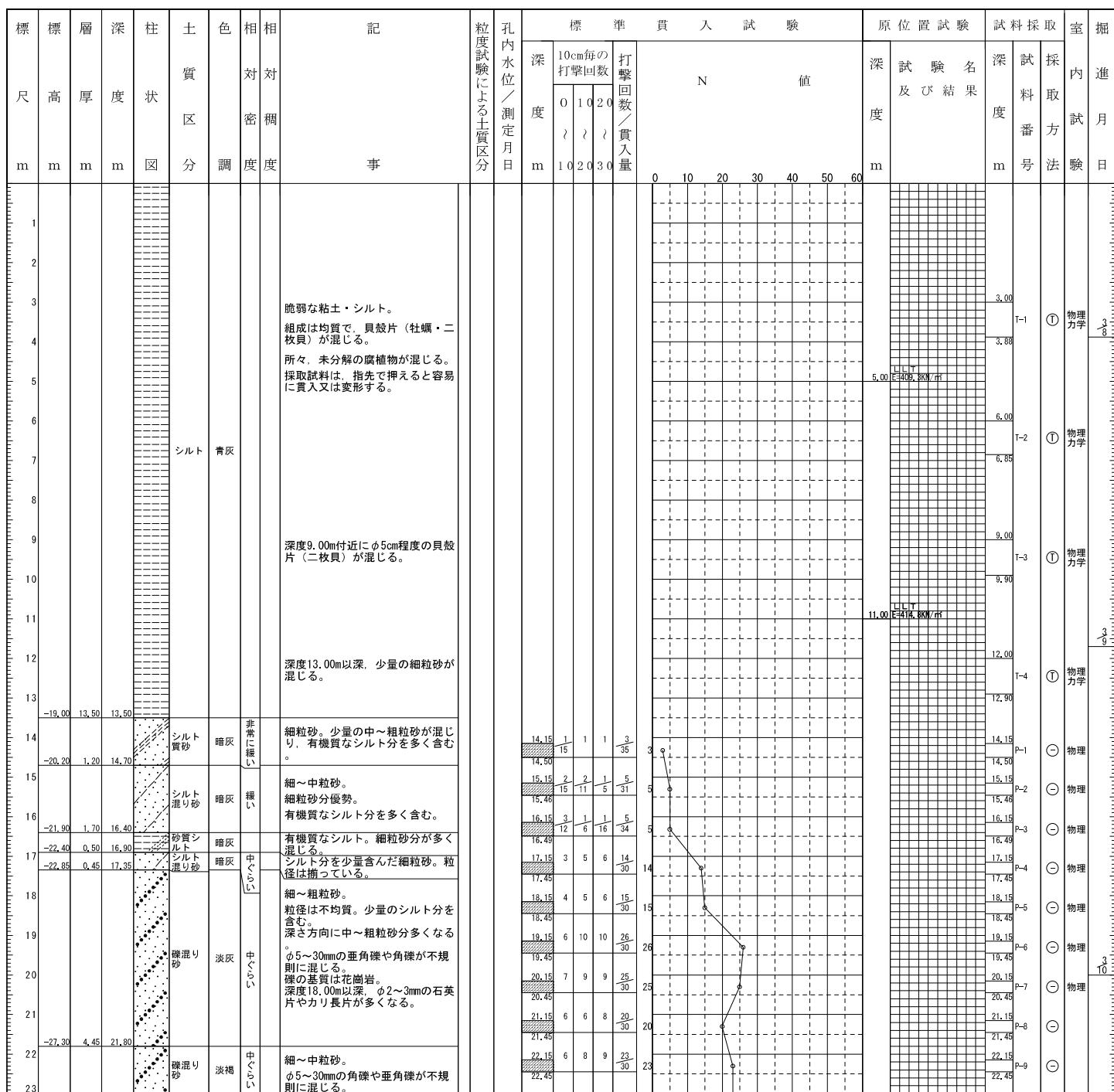
ボーリング柱状図

調査名 国際拠点港湾 広島港 臨港道路廿日市草津線 広島はつかいち大橋土質調査業務委託(その2)

ボーリングNo. 5 1 3 2 4 2 2 8 0 0 0

事業・工事名

ボーリング名	Bor.P7	調査位置	広島県広島市佐伯区五日市港三丁目地先	北緯	34° 21' 13.9790"	
発注機関	広島港湾振興事務所	調査期間	平成29年 3月 8日～平成29年 3月16日	東経	132° 21' 23.1511"	
調査業者名	主任技師	現理人	口鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高 -5.50m	角度	180° 上 90° 下 0°	方位 北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配 鉛直 90°	使用機種 試錐機 東邦D-1B58 エンジン NS-110	ハンマー落下用具 半自動型 ポンプ 東邦BG-3B
総掘進長 43.00m						



24	-30.00	2.70	24.50	礫混り砂	淡褐	中ぐいし	深度23.50~23.65m間に粘性土の薄層を挟む。 深度23.90~24.05m間に細粒砂の薄層を挟む。
25							細~粗粒砂。 φ5~30mmの角礫や亜角礫が不規則に混じる。 礫の基質は花崗岩で、風化礫及び未風化礫が混在する。
26				礫混り砂	黄褐	中ぐいし	
27							深度26.00~26.50m間に、細粒砂の薄層を挟む。
28							
29	-34.60	4.60	29.10				
30							細~中粒砂。 深さ方向に中粒砂分が多くなる。 φ5~30mmの亜角礫や角礫が混じる。
31				礫混り砂	褐	中ぐいし	
32							深度32.00m以深、礫分多い。 礫の基質は花崗岩で、風化礫が多い。
33	-38.20	3.60	32.70				
34	-40.00	1.80	34.50	砂	淡灰	密な	粒径の揃った細粒砂。 少量の中粒砂分が混じる。 深度33.60~33.80m間に、粘性土の薄層を挟む。
35							中~粗粒砂。 所々、まさ土状の塊を風化礫状に挟む。 φ5~30mmの角礫や亜角礫が不規則に混じる。
36				礫混り砂	淡灰	密な	
37	-43.40	3.40	37.90				
38							中~粗粒砂で、粗粒砂分が優勢。 φ5~40mmの角礫や亜角礫が多く混じる。 風化礫及び未風化礫が混在する。
39				礫混り砂	淡灰	非常に密な	
40	-46.10	2.70	40.60				中~粗粒砂。 φ5~30mmの角礫や亜角礫が多く混じる。 所々、まさ土状の塊を風化礫状に挟む。 礫の基質は花崗岩。 φ2mm程度の石英粒子が細礫状に混じる。
41							
42				礫混り砂	淡褐	非常に密な	
43	-48.50	2.40	43.00				
44							
45							
46							
47							
48							

